

公開講演 舞うこと、踏むこと、生きること。その根源にあるものを見つめる。

日時：12月2日（月）10：40～12：10 会場：お茶の水女子大学 本館 306 教室 聴講無料（要事前申し込み）



講師プロフィール：徳安慶子（遊舞舎 慶子）

舞踏家。東京藝術大学 大学院 美術研究科 グローバルアートプラクティス専攻修了。

2019年より舞踏家中嶋夏に舞踏を師事。2020年より舞踏家相良ゆみ、久世龍五郎に舞踏を師事。2020年「遊舞舎」設立。民俗学等を参照し、都市における「まれびと」的存在(人間の本質的な奥底を共振させるような他者)としての舞踏表現の在り方を探求し作品制作を実施する。クマ財団第7期生。千葉県アーティストフォローアップ事業採択。

講演概要

舞踏作品の創作プロセスを紐解くとともに、現代において舞踏・舞踊が担う役割について問い、身体／表現の持つ文化的奥ゆき、風土との関わりを持つ身体という視座から講演を行います。



遊舞舎 優子（共演者）

お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 比較社会文化学専攻 舞踊・表現行動学コース在学。2020年より舞踏を軸としたパフォーマンスユニット「遊舞舎」設立。美術家や音楽家、詩人、東北をはじめ様々な地域で身体表現を軸とした教育活動を実施する。



遊舞舎 珠子（共演者）

アーティスト。東京藝術大学 大学院 美術研究 グローバルアートプラクティス専攻在学。

1998年兵庫県生まれ東北育ち。人ならざる他者の声を聴きながら土地と共に生きる人々の見ているものに興味を持つ。2024年より正式に遊舞舎の団員として活動を開始。

遊舞舎 Yubusha Butoh

舞踏家の慶子と優子、アーティスト・ドラマトゥルクの珠子から成る舞踏舎。郷土芸能や民俗学の研究を通じて過去から現代までつらなる多様な舞踊文化の根源にあるものを見つめ、舞踏による独自の表現を探求しクリエイティブな創作活動・教育活動を実践する。

*** LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者も聴講します。**

問い合わせ先：お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子

nakamura.minako@ocha.ac.jp